

キャスパー・アプローチ・セミナーのご案内

姿勢を安定することは日常生活において重要な要素です。しかし、頭や身体が倒れたり、手が使いにくかったり、お尻がずれたりされている方がいます。「キャスパー・アプローチ」には、そんな現状を大きく変化させる可能性があります。キャスパー・アプローチは日常生活の場から生まれた「全く新しい考え方の姿勢安定技術」です。日常生活をより豊かにするために数千例の具体的症例を積み重ねた技術ですから、実践的で結果の出る手段です。また、成功経験のサイクルを作り、ワクワクする日常生活を支援するために考案した姿勢安定技術でもあります。

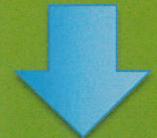


笑顔の物語がここから始まる

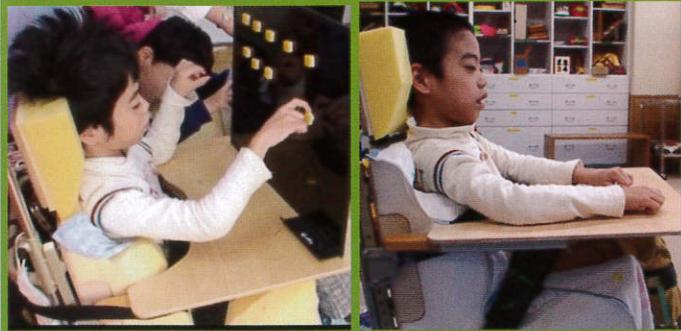


ビフォー

授業中いつも机に突っ伏していた男の子。
書見台を使っても先生に声をかけられても、ほんの少しの時間しか黒板を見る事が出来ません。
しかし、キャスパーでは授業時間中ずっと黒板を見ることが出来ますし、それまで苦手だった細かな作業も上手に出来るようになり、斜視があったのも徐々変化してきてくださいました。



キャスパー・アプローチ アフター



ビフォー

とても緊張の強い男の子。ちょっとした事ですぐに力が入ってしまい、スイッチを押そうすると後ろを向いてしまいます。
しかし、キャスパーではお母さんや先生が周りが驚く程リラックスしてスイッチが押せました。

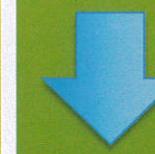


キャスパー・アプローチ アフター



ビフォー

遊ぼうと思うと腕後ろに引かれてしまう少女。
何でもやってみたくて、意欲は人一倍あるのに思うように出来なくてイライラ。そんな彼女も、キャスパーでは両手が前に出てとても上手に操作出来ます。もちろん頭や身体も安定して座れます。
もたれているけど、前を真っ直ぐ見られます。



キャスパー・アプローチ アフター





生活を豊かにする道具たち

あすかちゃんは双子の姉妹。低緊張タイプのニコニコかわいい女の子椅子以外の道具を作りましょうと、困っていることやりたいことをお聞きして様々な道具をつくりました。その道具で日常的に遊ぶ事により、心と身体が多いに成長しました！ キャスパーという考え方と道具づくりの相乗効果によって起こった出来事の一つです。



お風呂にブランコ、自転車にプール。
お母さんが一番喜んでくれたのは、みんなと一緒に遊べるテーブル！
キャスパー・アプローチでもっと、もっと楽しい事やろう



2004年

新しい姿勢保持理論「キャスパー・アプローチ」を全国の方に知っていただくために、大阪から東京に住まいを移してNPOとして活動を始めました。

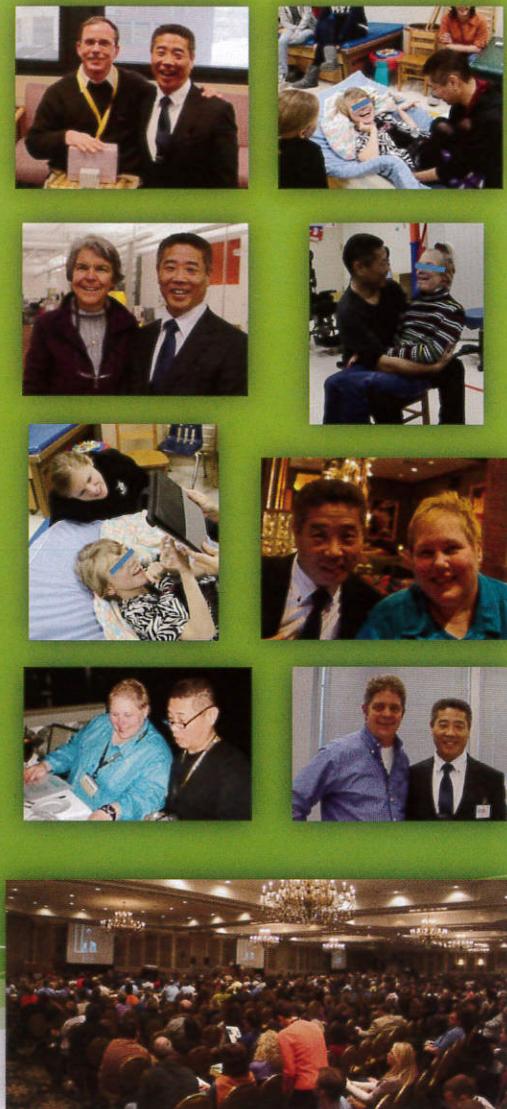
開催をしたセミナーや講習会にお越しいただいた方々は5千名を超える、キャスパー・アプローチの研究会が国内に14ヶ所発足、その研究報告会や、ドクターとの医学的検証も始まっています。

昨年11月、海外に向けてなんらかの形で発信を考えていた矢先、驚くようなスピードで物事が進み2011年1月23日に渡米することになりました。

アメリカでは、繋がりがどんどん広がっていき、多くの著名な方々ともお会いすることができました。

特に福祉機器やシーティングで世界トップクラスの技術を持つピッツバーグ大学でお会いできた全ての教授陣からキャスパー・アプローチへ高い評価をいただき、ダイアンさんとは、ISSへのキャスパー・アプローチ共同発表の計画も生まれました。

海外でも認められた キャスパー・アプローチ



ISS（インターナショナル・シーティング・シンポジウム）という、世界34カ国から約1700名が参加する世界的規模の学会

ポップンクラブ事務局

〒586-0071 大阪府河内長野市加賀田 2649 番地
TEL & FAX 0721-65-6942